

ようこそ大崎町へ

9月2日(月)から16日(月)の期間で、台湾陸上協会の代表候補チームが大崎町で合宿を行いました。

今回の合宿は、2020東京オリンピックに向けたチーム力強化を目的に、走幅跳や三段跳、砲丸投、棒高跳の選手とコーチら、計20名が来町しました。

代表候補選手らは、合宿初日に役場を表敬訪問し、東町長は「ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅など、施設は整っています。ぜひオリンピックに出場していい成績を残せるよう有意義な合宿にしてください。」と歓迎のあいさつを述べました。また、激励品として鹿児島県から、鹿児島黒牛の牛肉、大崎町とジャパンファームからは、桜島どりの鶏肉が贈られました。

代表候補選手らは期間中、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅を中心に、鹿屋体育大学や地元小学校の児童らとの交流などを行いました。

アストレで最高の練習を

表敬訪問を終えた代表候補選手らは、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅へ移動し、室内競技場や投てき練習場、トレーニングルーム等の視察を行いました。

視察した選手らは、充実した施設に感動した様子でした。



トリニダード・トバゴに引き続き  
**2カ所目**

# ホストタウンで繋がる 大崎町の国際交流

